

★わたしの意見

# 「人間学運動」と いうこと

青木 啓

（ラジオ関西社長・人間学研究会代表理事）



今年は年賀状に「人間学運動の提唱を発願しております。」というような文句を書いた。昭和四十一年から、「ラジオによる人間学講座」という放送をはじめ、同時に「人間学研究会」という集まりをつくって、放送や講演会や座談会などを通じて「人間学」を語り合ってきた早いものでそれが丸七年になる。この間「ラジオによる人間学構座」の聴取者で「人間学研究会」の会員になった人たちの数も相当の数になつてゐる。

同じ人間学の発想から昨年の四月にはまた「神戸芸術学林」という寺小屋式大学をつくった。洋画科、日本画科、陶芸科の本科生合計生徒数十三名、先生も生徒も仲間意識で人間学の実践と創作芸術に打ちこんでいる。財政的な基盤も用意もなく、一途な実験的情熱と意欲ではじめてしまった仕事だから忽ち財政窮屈で困つてゐるがみんなで托鉢行でもやつて切り抜けを行きたいと思つてゐる。「人間学」というのは本来人間が自らの内側に向つての勉強であろう。不在勝ちな自己を見出し、病んで歪み勝ちな自己を回復することに向つて実存としての人間を問い合わせてゆく認識と実践の学なのだとすることができるだろう。私が年賀状に書いた「人間学運動の提唱」と言ったような言葉の組合せは、その意味ではいささか自分でも短絡の感がしないでもないが、みんなで「人間」という根元の次元に還つて出直そうという呼びかけは、ひとつの理念運動として無駄なものではあるまいと思うのである。できることならそれを私たちの地域社会の運動の合言葉として言い读けてゆきたいと切望してい

一昨年「私の人間学」というお恥しいような小著を出し、関係先にお贈りしたところ、意外なお賞めの言葉を頂いたりして恐縮したが、昨年の十月にはまた全国民間放送大会で「ラジオによる人間学講座」が放送活動部門での最優秀番組賞を受賞したりしてまた面喰つた。七月間「人間学」「人間学」と言つてきたことが漸く发酵してきたのかなという感慨もある。

同じ人間学の発想から昨年の四月にはまた「神戸芸術学林」という寺小屋式大学をつくった。洋画科、日本画

科、陶芸科の本科生合計生徒数十三名、先生も生徒も仲間意識で人間学の実践と創作芸術に打ちこんでいる。財政的な基盤も用意もなく、一途な実験的情熱と意欲ではじめてしまつた仕事だから忽ち財政窮屈で困つてゐるがみんなで托鉢行でもやつて切り抜けを行きたいと思つてゐる。「人間学」というのは本来人間が自らの内側に向つての勉強であろう。不在勝ちな自己を見出し、病んで歪み勝ちな自己を回復することに向つて実存としての人間を問い合わせてゆく認識と実践の学なのだとすることができるだろう。私が年賀状に書いた「人間学運動の提唱」と言ったような言葉の組合せは、その意味ではいささか自分でも短絡の感がしないでもないが、みんなで「人間」という根元の次元に還つて出直そうという呼びかけは、ひとつの理念運動として無駄なものではあるまいと思うのである。できることならそれを私たちの地域社会の運動の合言葉として言い读けてゆきたいと切望してい

★月刊「神戸っ子」13周年記念文化賞

# B M ブルー・メール賞

第3回受賞者発表 〈副賞各部門拾万円〉

郷土を愛する人々の雑誌、月刊「神戸っ子」はこの三月号で十三周年を迎えました。

これもひとえに皆さまの暖かいご支援の賜と深く感謝いたしております。

さて、月刊「神戸っ子」では、神戸の文化を進めるため、ここに第三回「ブルー・メール賞」(青い海)を設定し、各部門別に選考座談会を行つたうえ、左記の四人の方々に賞をお贈りすることになりました。

また、副賞には地元企業のご協力により、各部門の受賞者に十萬円が授与できることになり、心からお礼申し上げます。

地域社会の中から世界に通じる文化を育みたく、力いっぱい努力してまいりたいと思ひます。今後ともご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

## 音楽部門



上月 優子

〈洋舞家〉

吉村 一夫・柴田 仁・小石 忠男  
委員 選考

モダン・ダンスが盛んな神戸にあって、そのなかで近来、クラシック・バレエの古典的作品にとり組んで、神戸のブリマにふさわしい仕事をしてきた上月優子さんのブルー・メール賞はまことに妥当だと思います。

〈柴田〉

## 美術部門



小西 保文

〈画家〉

高橋 亨・増田 洋・伊藤 誠  
委員 選考

昨年、タブロー作家の個展の中で非常に印象深いい個展を神戸と東京で開いた。例年立体造形の方に賞が行くので今年はタブローの中でいい仕事をした人に賞を——と思っていたところの彼のこの活動。何よりもずっと貯めていたエネルギーを爆発させたという点をかいたい。

## 文学部門

委員  
選考

阪口 保・小林武雄・赤尾兜子



### 小泉八重子

〈俳人〉

## 芸能部門

委員  
選考



### 吉井順一

〈能楽師〉

沼 艸雨・小泉 康夫

吉井順一師の芸風は人柄をそのままに映した  
ように格調が高く、とくに舞い姿の良さは定評  
がある。故吉井司郎師の芸風をよく伝えて、観  
世の正統派として高く評価され巾広く活躍して  
いる。この受賞を契機に一層の精進を望みたい。  
〈小泉〉

石野証券株式会社 神栄株式会社

ウシオ工業株式会社 角南商事株式会社

オールスタイル株式会社 株式会社 そごう神戸店

川崎重工業株式会社 株式会社 大丸神戸店

株式会社 神戸製鋼所 株式会社 太陽神戸銀行

島文工業株式会社 バンドー化学株式会社

〈アイウエオ順〉

★副賞協力

会社ご紹介

★選考についての各部門座談会を本誌二五頁より掲載いたしております。



●三宮の楽しいショッピング・オフィス街への出勤に  
**末積カーポートビル**

近代的な  
立体駐車場  
150台OK



●普通車30分=¥100

スピーディな駐車 親切な応待—

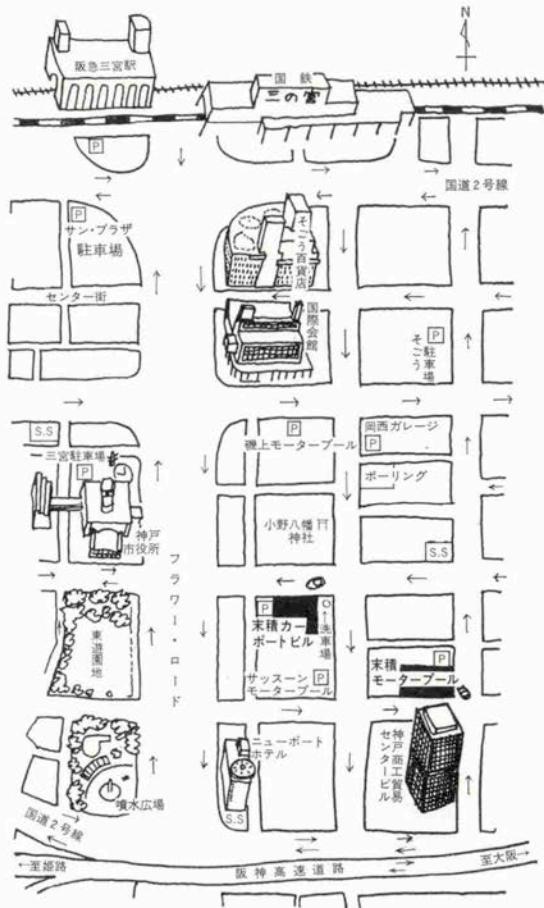
- 冷暖房完備・TV付の  
待ち合い室もあります。
- あさ8時——よる10時(日・祭日営業)



**末積株式会社**

神戸市東灘区磯辺通4丁目6番地ノ2

T E L 078 (221) 9 8 8 7



# B M ブルーメール賞

音楽部門選考座談会

## 洋舞一筋の上月倫子に

吉村一夫 〈音楽評論家〉  
柴田仁 〈音楽評論家〉  
小石忠男 〈音楽評論家〉

選考委員

小石忠男

〈音楽評論家〉

吉村 小石さんの方から候補者をあげてみてよ。

小石 じゃ、具体的に出していくましようか。小沢雅世、岡村晴子、関晴子、伊藤ルミ。ここまで松本幸三、田原祥一郎……。

吉村 たしか、小沢雅世は昨年、大阪文化祭賞をとつてゐる。だから、ブルーメール賞を出すならタクミングとしてはいいわね。もつともダブつてしまふけどな。そこの兼ね合ひが難しい。

柴田 松本幸三も同じ賞をとつてますね。

吉村 松本幸三はエエと思うな。地味やしね。それに若くない。

小石 松本幸三は重要候補です

ね。小沢雅世はどうですか。

吉村 ただ音楽性がもう一つだね。

小石 岡村晴子はヤマハのリサイタルをやりましたね。彼女は神戸っ子です。関晴子は芦屋。モーツアルトサロンです。伊藤ルミはコンチエルト。毎日ホールでやりました。松本幸三も毎日ホールですね。

柴田 大阪での活動が多いですな。まあ、神戸もやつと文化ホールができたのでこれからは活発になるでしょうが。

小石 ホールはできただれど、音楽活動は少ないですね。よく使っているのはアマチュアのコーラスなんかで、プロはあまり使わな

い。大阪でやりますね。ここらが問題でしそうね。

吉村 どうせやるなら大阪の方が効果的やと思つとるんやろな。

柴田 神戸は長らく音楽とは縁がないところみたいになつていたからね。国際会館ではやらなかつたし。

小石 他にはどうですか。

吉村 伊藤ルミなんか神戸っ子らしい感じがするけどね。それに、音大出じゃないね。

小石 まあ、神戸らしいことは神戸らしいですね。岡村晴子も。

吉村 伊藤ルミは音楽性はあるがテクニックはもう一つだし、関晴子は逆にテクニックはいいが、音楽性はもう一つ。(笑)



華麗に白鳥を舞う上月倫子と王子は久光孝男





小石忠男さん



柴田仁さん

で「白鳥」の編成をして文化ホールのオープニングで全曲をやったんです。

★今後の期待も込めて上月倫子に

吉村 そろそろ詰めに入るか。音楽の方が弱ければバレーを考えよう。

小石 バレーなら上月倫子に出したいですね。

吉村 そうだな、音楽の方はもう一つ決め手がないしね……。

柴田 でも、バレーはこれからと可能性の方が強いんじゃないですか。

吉村 だから、音楽の方が弱かつたらバレーに変えてもいいんじゃないですか。上月倫子ならいいじやないかなあ。

小石 神戸っ子ですしね。

吉村 ウム。強いね。

柴田 昨年「白鳥の湖」のオデットをやつたんですか。

小石 そうです。神戸新聞社の合同公演でやり、そのなかから選抜

吉村 だから、音楽の方が弱かつたらバレーに変えてもいいんじゃないかなあ。

小石 そしたら、来年まで待ちますか。

柴田 いや、もうチョットいろんなことをやると違うかなあといいう気もするんですがね。

吉村 ジャ、音楽の方で煮つめていくか。

小石 ジャ、音楽で一人煮つめてそれとバレーと比べましょう。

吉村 今まで出たうちから外して行こうか。朝比奈千足はエエわな。

小石 特にないですね。

吉村 特異性からいつて「もう飛ばないで」は残しとこうや。それから、田原祥一郎も外すか。松本幸三は残そう。高丈二も残そう。

小石 それからピアノ。

吉村 関晴子、小沢雅世、徳永秀

則、延原武春……もう一つだな。小沢は文化祭賞をもらっているし。

小石 これで岡村、伊藤、松本、高、それと「もう……」が残りま

したね。

小石 こうなつてくると高が最有力候補になってきたな。

吉村 そうだな。それと、国際都市神戸ということで高にやつてもエエと思うけどな。

柴田 神戸らしいということですね。

小石 ウーン。しかし、神戸での活動ということでは上月の方が強ですね。高はそもそも神戸におらんからね。弱いですよ。

吉村 おらんな。もつと神戸でやつてくれんとね。

柴田 それが弱いですね。

吉村 そうなると、どうやらこちらで落ち着きそうですね。

柴田 彼女は今まで賞を貰つたこともないですね。

吉村 じゃ、上月でいいのじゃないですか。どうですか。

小石 異論ないですね。

吉村 そうです上月に決定しました。今後、舞台でますます頑張つてくれるようとの期待も込め

B  
M

'74 「神戸っ子」13周年記念

# ブルー・メール賞

美術部門選考座談会

## 独自の世界を展開する 小西保文に

選考委員

高橋 亨  
増田 洋  
伊藤 誠  
（美術評論家）  
（県立近代美術館事業課長）  
（神戸新聞文化事業部部長）



高橋 亨さん

編集部 ブルーメール賞も今年で三回目です。第一回目の山口牧生さん、第二回目の丸本耕さんとも、受賞後ますます活躍され非常によかったですなあと思っています。

去年一年間の活動を中心今年も選考をお願いいたします。

伊藤 大よその候補者をしぼってきました。一人は小西保文、秋の

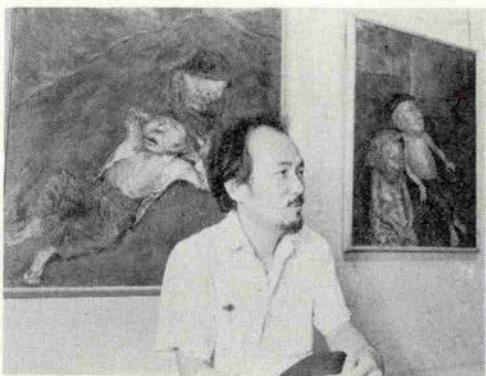
元町画廊での個展、引きつづいての紀伊國屋画廊での個展の評判が良かったですね。有力候補だと思いますよ。もう一人は河口龍夫バリビエンナーレでの地元からただ一人の活躍ぶり。努力は認められると思います。そしてもう一人は松本宏。でも彼は金山平三賞を受賞したから何とも言えませんが、わりあいい仕事ぶりだと思います。

増田 重ならないところで増田正和というのが頭の中にあります。河口さんは去年も対立候補として最後まで残りましたがもつと他のチャンスがあるのではないだろうかと丸本さんに決定したんです。丸本さんは将来もう一度爆発する

だろうという期待と、「〇〇の会」の同人を育てている……同じような感じで増田正和も日韓彫刻展の事務局をあれだけ立派にやったし作品も注目を集めています。

伊藤 一、二回目が立体造形の方へ行っているので今年あたりはタブローに受賞してもらいたいですね。層も厚くいい人が多いしね。増田 アサヒアートナウでいい仕事をした藤原向意も有力候補だと思います。仕事としては版画に入るのが版画として考えなくていいし。県展の工芸でディオメトリックの押切隆志（染色）や山本和子（織物）が印象に残っていますね。

伊藤 阪神間を含めての神戸っ子でなくてはいかんのかな？ 彼女



元町画廊での個展「小西保文の世界」



伊藤 誠 さん



増田 洋 さん

は姫路ですが先が楽しみです。

増田 押切隆志はまだ若いですね。

伊藤 作品発表は兵庫県では少ないが西村利夫は若手としては頑張っている。しかし、ボカーンと打ち出したものがないな。

増田 小西保文がでてくると他は太刀うちができないね。地元でも中央でもいい発表があつたし。彼は個展の回数が少ない。それだけ作品発表に慎重であつたんだけど情緒に、今度は生の生活表現で

はないが生活と密着した庶民感情が出てきてね。しかもあれは心象風景ですよね。

伊藤 いろんな方面の方に見ていただいても訴えるものがある。久しぶりに神戸としては見ごたえのある個展でしたね。

増田 絵かきさんが絵を描くという仕事ぶり、何をやつとんねいのが多いからねえ。

伊藤 タブローに頑張つてもらいかったのでいい仕事を見せてく

れたのがとても印象に残った。

伊藤 編集部 去年の美術界の動きはどうでしたか？

伊藤 例年に劣らず活発であつたと思います。発表の場も県立近代美術館ができるから外への影響が大きくなつたと思います。神戸だけ

けでないですが画廊もふえましたよ。発表の場が増えるといふことはいいことだと思います。

高橋 河口龍夫のアサヒアートナウの仕事にしても何にしても、あちこちで彼の仕事を注目している

伊藤 一回目でも話題になつたのは現代の空間展で賞をとつたといふ事でしたね。他で賞をとつたからとこだわっていては作家に対し申し訳ないと思いますよ。でもこの賞の主旨と対象から考えると

河口さんはもう卒業なさつたようになりますね。年令的にはまだだ若いですけど。それに次ぐとすれば植松奎二は頑張ってるね。

増田 あの日韓彫刻展の作品もおもしろかったです。はつらつとしていて。

伊藤 彼も最初からいいセンスのものを連ねていますね。二、三年前からの活躍も考えますと若いのによくやっているので候補になると思いますよ。すぐ賞の対象にはならないと思いますが、石川晴久。彼もいい作品をもつてます。

ユタカ順子はもう一つ足踏み状態です。文化センター・アートギャラリーで一〇〇人招待した中から半分くらいがこの賞の対象として出てくると楽しみですね。

伊藤 編集部 彫刻の方はどうですか？

伊藤 新谷沢子が帰つて来たけど去年は神戸に関係なしで仕事してますのでね。新谷琢紀も作品発表が活発だった。

増田 彼の場合は発想のマンネリ化がこたえますね。イタリアへ行つて新しい面をとりいれてくる

といいですね。彼の持ち味は日本のブロンズ屋ではできませんから。

伊藤 今度帰つてくるのが楽しみです。専門のブロンズ屋をつれて

来るか自分でマスターするかとに角、彼の持ち味は日本のブロンズでは出にくいのですよ。

増田 それと彼は形から入りすぎる。形を先に考えてしまって作品

の裏付けになる芸術的環境というか情緒が欠けている。みずみずしさがないのがつらいですね。県下

の彫刻家全体が発表の場が多いわりに内容がものたりません。

伊藤 日本国画もハッパがかかりませんね。人数が少なくて頑張つてはいるが若手でこれという発表がないですね。

増田 日本国画の技術を身につけるのは時間がかかるんですよ。山種美術賞での新人でも50才と60才ですからね。画材を使いこなすといふ制約から時間がかかるんですね。年令を別にして注目したいのは、昇外義。際だっているが作品が出てこないのが残念です。慎重なんですね。

伊藤 山平義正、ヨーロッパへ行って来ましたね。意欲的だがまだです。特に向こうでの収穫は作品に表われていない。〇の会の実質的リーダーの古川清。今年は個展をやりたいと言つてたので楽しみです。権忠も作品発表が少ないがいいものを持っています。

高橋 しかし何と言つても作品を見せてくれることが前提ですのでね。そういういみでは植松君は立派ですね。京都アンデパンダンでも常連だしそれなりの評価を受けます。

編集部 デザインや写真の分野はどうでしょう。

増田 ないです。デザインの仕事としては実際にビジネスに結びついて、自分で芸術として湧きあがつくるものを創りだすという時間がないんですね。

伊藤 日本国画で思い出しましたが丸投三代吉。高砂で個展をやりましたが、おもしろい絵です。一般の人でもとりつける、ほのぼのとした格式ばらない作品です。

増田 異色で詩があり文句なくいい作品です。多くの画家が失なつているものをもつてている。

伊藤 笹山の陶芸展で個展をした市野重良。イギリス留学を終えて帰国した人だが立杭の本質と英國の影響のミックスでちょっと変わってきたと評判です。

増田 鄭相和も神戸での発表は少なかつたがサンパウロビエンナーレで韓国代表で行かれましたね。それから大切な人を忘れてしまった。鎌田糸平、描いて発表した状況が異色ですわ。それからもう一人

人藤田夢松。南画の人がですが設計技師で、東京と大阪で個展をやりました。最も筆を持ったのは子供の時からですがね。

伊藤 異色と言えば鴨居羊子も。きばつた絵でなくユニークな絵を描く。

高橋 〈〇の会〉の会としての活

動もおもしろいですね。

編集部 そろそろ候補者をしほつてみましょう。

増田 増田正和。小豆島でいい仕事をしたのと日韓彫刻展をまとめた。タブローでは小西保文、藤原向意ですね。どちらにしても仕事を

はいいです。

高橋 松本宏もいいが金山平三賞を受賞したし。

増田 ブルーメール賞のおさらいをすると、社会的な行動で刺激を与えてそれにつられて皆がいい仕事をするとなると……河口龍夫も

いいと思いますが。伊藤 河口さんの場合は活躍ぶりはもうブルーメール賞を卒業したという判断もできますし……。タブローに出してやりたいと思うのは刺激は社会的でないが美術をやろうという若者に対する刺激があるんですね。

高橋 河口さんは若いが皆が注目する活躍をしている。が、ある意味では卒業しているとも考えられますのでね。

伊藤 そういう意味の新人ムードは小西さんの方にありますね。うれしいのは二人とも決して今にどまる人ではないということです可能性がありますしね。

編集部 今年はタブローにという事で小西保文氏の独特的の絵の世界の伸びに賞を贈りたいと思いま

家の合間に  
お仕事の合間に オリエンタルホテルの料理を研修して下さい

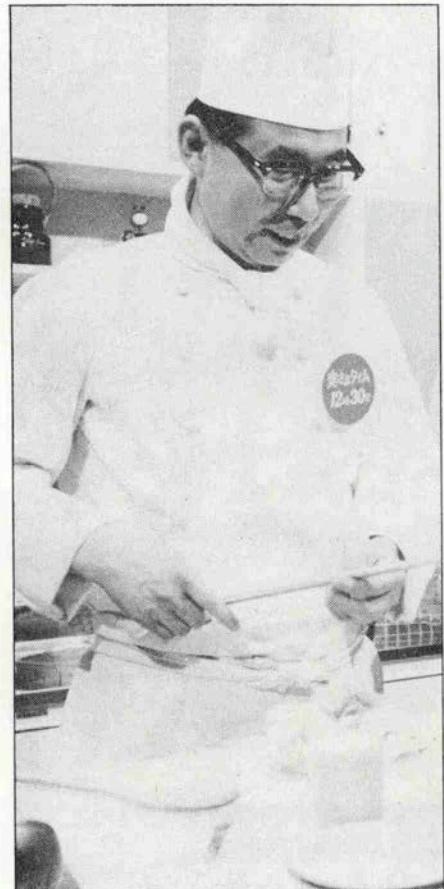
## オリエンタルホテル 料理教室

49年春組ただいま募集中

普通科 { 月・金 10:00~12:30  
(週一回) 月・金 14:00~16:30

研究科 { 火・水 10:00~13:00  
木 13:30~16:30

くわしいことは教室事務所へ  
お問い合わせください。  
(ホテル地下1階 331-8111)

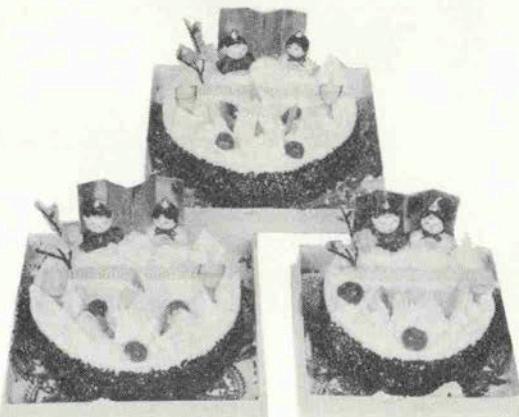


▲サンテレビ奥さまタイムのワンポイントクッキングで活躍中の料理長

株式会社

オリエンタルホテル 神戸市生田区京町25

ひなまつりパーティー  
楽しさいっぱい  
ユーハイムのケーキをどうぞ



¥700 ~ ¥1,200

その他、ご予算に応じて承ります。

ドイツ菓子  
**Fuerreim's**  
ユーハイム

本店 三宮生田神社前  
TEL (331) 1694  
三宮店 三宮大丸前旧市電筋  
TEL (331) 2101  
さんちか店 さん地下  
スイーツタウン  
TEL (391) 3539  
心斎橋店 TEL 06 (252) 0925

# 刀 剣 古 美 術 書 画 骨 董

▲プロハズ「祖国」(19世紀フランス) ¥1,200,000



鑑定 買入  
研白鞘 拍御承処

神戸市生田区元町通6丁目25番地

刀 古 美 術 董  
元町美術

¥650 TEL 078-351-0081

# B M ブルーメール賞

文学部門選考座談会

## 心象を追う小泉八重子に

阪口 保（歌人）  
小林 武雄（詩人）  
赤尾 兇子（俳人）

選考委員

赤尾

凶子（俳人）

編集部 第三回神戸っ子ブルー・

メール賞文学部門は、第一回同様、短詩文学に選考範囲を限り、現代詩、短歌、俳句の分野での選考をお願いいたします。

阪口 短歌では磯江朝子「黄の存  
在」、犬飼武「後夜」、上野晴夫  
「木魂祭」、木下幹也「紅薔薇」、  
藤原加須恵「ひとつのがれ」、  
藤田恒男「遠く近く」、北村庄太  
郎「鈍牛」など昨年もずいぶん出  
たようだ。

しかし犬飼は、半どんの会文化  
賞を受けていたし、大先輩だから  
敬意を表するという意味で選考外  
ということにしては。磯江も若い  
人を育成する立場にある人だから  
ら、やはり選考の対象からはずす

方がいいだろう。

残った中で誰を選ぶかというこ  
とにすれば、去年歌人クラブの新  
人賞を受けた上野だろうね。

小林 昨年の詩集といえば、ます  
女性では福井久子「鳥と蒼い眸」、  
吉野立子「日々の詩」、男性では  
鈴木漢「二重母音」、直原弘道「日  
常的風景」、青田豊吉「雜草記」、

坂田聖峯「童顔」、それと姫路文  
学人会議の特集のような形式です  
が、玉岡松一郎「鳳信治の作品集」。  
その他に先輩詩人の能登秀夫「年  
輪」「野沢修治、玉本格「亞大陸」、  
河合一の写真と丸本明子の詩の合  
作写真集など、年末に出版された  
と聞いていますがまだ見ていません。

赤尾 句集は小田慎次「戸守」、

鈴木素風「夜振火」、越田青誠「古  
稀」、樺本翠邨「翠滴」、森以和子  
「旅路」、えつぐまもる「傷つい  
た葦」、小泉八重子「水煙」、坪内  
稔典「朝の岸」、森田峰「避暑散  
歩」、後藤比奈夫「初心」、広田隆  
「百千の鷹」など。

永田耕衣は全句集を出し、大き

また富田碎花先生が、書家の出  
口草露の全文筆写、先生の短歌を  
版画家の上野長雄が版刻、全ペー  
ジ和紙の豪華本詩集を出されたと  
思います。他に多田智満子、岡田  
兆功詩集も思潮社の叢書で昨年出  
ているでしょう。安水穏和は詩集  
ではありませんが「幻視の旅」を  
出しています。



な業績はあるが、敬意を表して対象からはずす方がいいと思います

ね。

樺本は故人となられた方だ。誠実で句柄も温好な、活躍された人だったが惜しまれます。

小林 樺本の句集「翠滴」は遺著になりましたが、達観した人生観

が句のうしろに光っているような味わい深い句集でしたね。後藤、森田など俳句は四、五十代の人の

処女句集ですが、詩人で還暦近い人の処女詩集というのは稀です。

能登の終始一貫した庶民的諷刺。ひとり静かに孤独を温めている野沢の抒情は、長い人生を通じて深く省察に裏打ちされた作品ですから、これも良い詩集になっていると思います。

玉岡、鳳、玉本たち還暦前後の社会派ともいえる詩人たちの鋭い批評は、さきの能登を含めてストレートに感情に訴えるわかりやすさを持っています。青田、坂田の

作品も分明さを持っているが、た

だそのために発想の次元が、ま

素朴にすぎることもありますが。

赤尾 後藤の「初心」も第一句集だが、この人は句暦30年と長い。森田も第一句集だが、むしろ出るのが遅かったという感じがありますね。

広田はやや異端の作風。小田は三木の人で、地方の風土性を持つ句を詠む。この人たちが中堅どころです。

新人では小泉と坪内。小泉は女流だが、写生句でなくイメージ風の句で、女流としてはたいへん難しいところをやっており、才気はあります。

坪内はまだ28歳ときわめて若い。今は評論活動をバリバリやつ

ていて、近く正岡子規を一冊書き下ろすとか。兵庫における新鋭として全国から注目されているが、この句集だけではまだ早い気がします。若いだけにもう少し見守りたいですね。

小林 若い可能性を含めて詩集を選ぶとすれば、みんな可能性のある人たちですが、詩人たちは自分の言葉、存在といった問題を言葉のはなし大いに消滅の中で追い求めている。

現実など誰にも予見できないのだ」という宇宙からりんの中で、それだからこそ言語が持つ機能の中

に実在を求めるだけようとしている鈴木。そこにひとつ一つの答があると信じながら、なおいくつかの矛盾をひとつひとつ闘いのうと自分を説く直原。その直原の詩と言葉をむしろ象徴的に、けれども自己のものとして真摯に歌う福井のヒューマニズム。

作品的には、直原は思想家だけにそれ以外の言葉の使いようがないほど必ず眞理性はあるが、硬直な部分もあって、却って詩的昂揚に欠けるきらいもあるが、これは立派な詩集です。鈴木の不毛の実在を問い合わせる純粹希求と、福井の象徴性と、この三人は、簡単にいつてしまうと、この言葉でないと表現できないという深い詩語学察を感じさせる。

阪口 これでひとあたり出たわけ下ろすとか。兵庫における新鋭として全国から注目されているが、

この句集だけではまだ早い気がします。若いだけにもう少し見守りたいですね。

小林 詩人ではさきの三人が、それぞれの意味で秀れていますが、このうち一人といふことになると第一回の時と同じように、私なりの詩に対する考え方を前提とすることになってしまい困ります。

川柳は対象外でしょうか、時実新子という女性が句集を出して、この人は有望らしい。川柳は見ていないが俳句「青玄」同人

はとくに秀れているとは思えませんが名だけは挙げておきます。



74 「神戸っ子」 13周年記念

# B M ブルーメール賞

芸能部門選考座談会

## 「道成寺」の演技で 吉井順一に

選考委員

沼 艸雨 〈能楽評論家〉  
小泉 康夫 〈月刊「オール関西」編集長〉

小泉 昨年は神戸文化ホール、一昨年には神戸能楽殿ができましてブルー・メール賞の方も過去二回日本舞踊が続いておりますし、能はめつたにやる機会がありませんので、今回は能にしほって選考していきたいと考えております。

沼 地元での能の動きは?

小泉 活動としましては、神戸市が予算を出しまして、学生観賞能をやっております。去年だけで11回上演しています。神戸市の文化課が主催し、中心になつて進めているのが、藤井徳三さんです。

沼 何人ぐらい観ていますか。

小泉 中学二年生を対象に一回四百人ぐらい観っています。市が予算を出してくれるのは能の立場から

考えますと結構なことで、神戸はいい環境が開かれつつあります。

なお、昨年度の神戸での能の大好きな催しといえば能楽殿完工一周記念の「別会能」と文化ホールでの「神戸能」があげられましよう。

沼 芸術的な成績の上においての賞とするか、または、発展に対する功労的なものかで選つてきますね。一応、芸術活動を軸として考えて、能の展望はいかがでしょうか。

小泉 これは大変な功績ですね。沼 それに匹敵する人はいないでしょうね。

小泉 その観点からいえば、関西でも、これほどがんばった人はいないでしょうね。全般的にみまして、能の展望はいかがでしょうか。

沼 大きい能か個人の発表会かといふ二つの傾向がありますね。大きい物は自分のものにならない欠点があるし、個人の発表だと自分の思う曲、思う顔ぶれでやれるわね。大きい機構だから個人の意見をはさめないけれど、それだからこそ能がやれるんですね。でも意欲を持っている人がずい分増え



「道成寺」を演じる吉井順一さん



小泉康夫さん



沼 鈴雨さん

義、大槻文藏、山中義滋さんら若手が意欲的に動いています。

小泉 そういう意味では杉浦元三郎、吉井順一、藤井徳三、大西智久さんらが主催した、「蘭の会」を去年スタートさせましたね。今年は神戸でやる予定ですが。

沼 家元の直系ばかりですね。家元直門が集まって勉強していくところがある。家元の弟子であると、謙虚な姿勢はいいことです。しかしバランスがおかしいところがある。家元の弟子であるというより、研究所から出していくところへ、研究室から出していくところへ、舞台へもなりますしね。例会はあくまでも一門の稽古舞台であつて、その他に舞台が必要だと思いますが。意欲が大切。

小泉 三役の数の減少が目立つてきていますが、これは神戸だけの問題ではなく大切な問題なんですが。

沼 全部が盛んになつて若い人がし上つてくると、三役にも若い

いうつましやかさが欲しい。また家柄のいい人達だから背伸びして立派なものをやろうとしてもいると思いますよ。

小泉 残念なのは、神戸に能楽殿ができながら、これといった意欲的な企画がないんですね。ただ、例会をやつてるだけです。これから夜能ですか、長く続けていくことで企画がたてられたらしいですが。福田和夫さんが中心になって企画を進めているらしいですよ。

沼 それは結構ですね。京都では若手の能が非常に盛んです。ファンもたくさんいる。若い人がい

のは、芸が正直で素直なことです。中途半端になると具合が悪くなるが。純真な芸が高校野球的に一般に受けてるんですよ。上手、下手をのけて、気持がいいんですよ。そんな若手が夜能なんかやると、勤労層、学生層に受けるわけです。舞台があればどんどんやつたりいですよ。中堅層や元老たちへの刺激にもなりますしね。例会はあくまでも一門の稽古舞台であつて、その他に舞台が必要だと思いますが。意欲が大切。

小泉 藤井徳三さんが上つきますね。沼 その点で藤井久雄、上田照也の両氏を除くとすれば吉井順一、

人が出てくると思いますよ。東京のワキでも、宝生闇なんか非常に立派なものですよ。あれも若い人を相手にしているからでしょう。松本謙三とか宝生弥一とか大物もいますが、宝生闇が非常に人気がある。若いシテを相手にして、若いワキ方が活躍する場が出てくれば、一挙に若手の腕があるし後に続く人も陽が当るならば、やりたい人が出てくるでしょう。今まで三役以外は陽が当らなかつたからね。

小泉 實際に企画を実行する場所があれば能はもつと盛んになるでしょう。去年は、五月の別会能と十月の神戸能の他に、神戸観世会の定期能がありました。神戸観世会の会長は家元、理事長が藤井久雄さんと非常にレベルは高いんですが。それ以外は、新しく始めた学生能ですね。それから「蘭の会」と、この辺が、去年の大ざっぱな動きです。神戸能樂殿ができたのも神戸能がうまくいったのも藤井久雄さんの功績ということがありますね。しかし、この方は重要無形文化財の総合指定も受けられている人ですしね。

小泉 神戸能の「安宅」の同山の人達をみますと、皆さんしっかりと

勉強されていますね。

沼 この年代は意欲的でいいんであります。この人たちが自分のやりたいたいもの「巴」とか「田村」などを選んで夜能あるいは三番能をやるとおもしろいですよ。

小泉 吉井さんはいかがですか。お父さんが亡くなつてから、がんばっていますね。彼は見込みありますよ。

小泉 しつかりしていますね。

沼 お父さんは、地味だけれども格調の高い立派な人でしたよ。

小泉 そういう評価も大事ですね。藤井さんより若手といえば勝部全一さんもいですね。奨励賞の意味になりますが。吉井さんの演技ということでしょうね。

沼 神戸のワキでは若手の植田隆之亮がいいですよ。

小泉 そうですね。沼 若手が少ないからね。

★ 街いのない芸でファンを握む  
吉井順一に

小泉 吉井順一さんの芸について、先生はどうお考えですか。

沼 吉井さんは、街いのない芸で、これは非常に大事だと思います。今はタレント意識をもつてやりたがる人が多い。そういう時にコツコツと素直にやっている。タ

レント意識、悪くいえばハッタリね。必要といえれば必要だが、つけ焼刃では、はげる時がある。コツコツとがんばってきたものは、大成という名を成すのは遅いけれど、地道にファンを握みますね。

吉井さんだといいですよ。これだけの大曲をやってるのだから。

小泉 吉井さんに決めましょうか。ちょうど地謡もいいし鐘後見もいい。ワキもいいし、三役も若手ばっかりとはいえないが新鮮なメンバーでやっている。神戸の観世オールメンバーが一人をもりたててやっているので、みんなの顔も立つし、吉井さんの力だけでなくなしに、みんなを代表して吉井さんが賞をもらうということになつていんじやないか。そして、これを機会に自信を持つて歩み出してほしいですね。吉井さんは決してちがつた勉強はしていないのだから、遠慮なくそれを發揮してほしい。大いに自信をもって進んでいるようですよ。

小泉 彼は難声を少し気にしているようですよ。

沼 彼の難声の中に入らないですよ。難声というのはもつとわからん所があるもんですよ。ただ、彼は遠慮がちだから難声だと思つているんとちがうかな。それでもまだ彼が難声だと思うのなれば、

クリニックを学んだらよろしい。

小泉 それはそうですね。

沼 観世華雪さんでも低い声だけど、低い声なりに遠くまでとおる声です。橋岡久太郎さんにも、野口謙介さんにも金春八条さんでもわからないほどの難声ですよ。それが名人といわれた人たちですよ。難声、それを打ち破つているのなら、なおさらそれを克服して、説得力のある語いをやつてもらいたいですね。

小泉 これを機会に発奮を促してがんばってほしいですね。沼 ブルーメール賞というのは、可能性を引き出すところに意義があるから、完成された人よりも、未来のある人ということで、吉井さんは適任ですよ。

小泉 形なんかもいい姿をしますものね。

沼 昔の人をみても、美声の人に名人は出でていない。声が悪いとか身体が小さいとか、そういう欠点のある人の中から名人が出て来る。それをカバーするのに人一倍努力するんでしょうね。彼の場合、気にするほどの難声でもないですから、これからは大いにやつてほしいですね。そうでなかつたら何倍かにして賞を返してもらわなければ（笑）。

# フランス風巻せんべい パピヨット

フレッシュなバターが  
たっぷり入って  
新しい味に生まれ  
かわりました。



古い老舗に新しい味覚

神戸  元町

## 月月堂

神戸市生田区元町3丁目195  
TEL. 391-2412-5

紳士の風格を表現する……



O-SHIBATA

金 **柴田音吉洋服店**

神戸・元町4丁目南  
大阪・高麗橋2丁目

神戸 341-0693  
大阪 231-2106